OriHime eye+Switch 利用マニュアル

目次

1. 準備
1.1 設置 ･･･P2
1.2 入力方法について･･･P3
1.3 スイッチのみで入力する場合･･･P3
(1)PC起動
(2)入力設定
(3)スイッチ入力の使い方
1.4 視線で入力する場合･･･P7
(1) 視線入力装置の接続とPC起動
(2) キャリブレーション（視線調整）
(3) 画面モードの選択
(4)[視線＋スイッチ]で入力する場合の設定
1.5 参考･･･P9
・全入力パターンの設定画面
・「介助者設定」と「設定」で設定できる項目
・視線入力のこつ

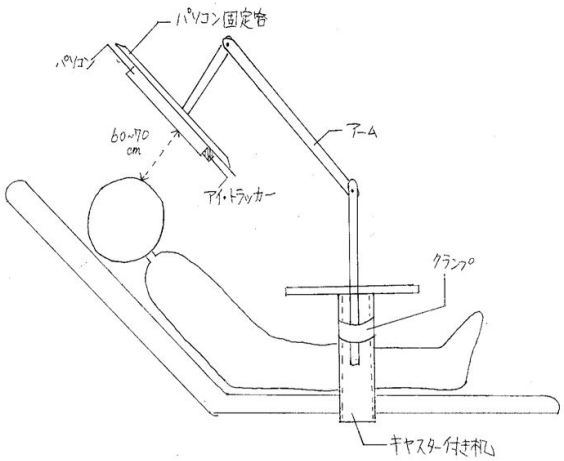
2. 利用方法･･･P12
2.1 起動画面の概要･･･P12
2.2 会話･･･P12
2.3 写真･･･P13
2.4 メール･･･P15
2.5 Windows操作･･･P20

3. 応用･･･P24
・カスタム文字盤･･･P24
・コエステーション･･･P25
・OriHimeをつなぐ･･･P27（別売）
・別室で鳴る呼び鈴をつなぐ･･･P29（別売）

4.トラブルシューティング･･･P30

1.1 設置

パソコン固定台やアームを利用して、ご利用者様の目の前（約 50～70cm）にパソコンを設置します。
横向きで寝ている場合はパソコン画面も横向きにします。
※日当たりがいい場合、カーテン等で対策してください。



◆動画で確認◆

・設置方法

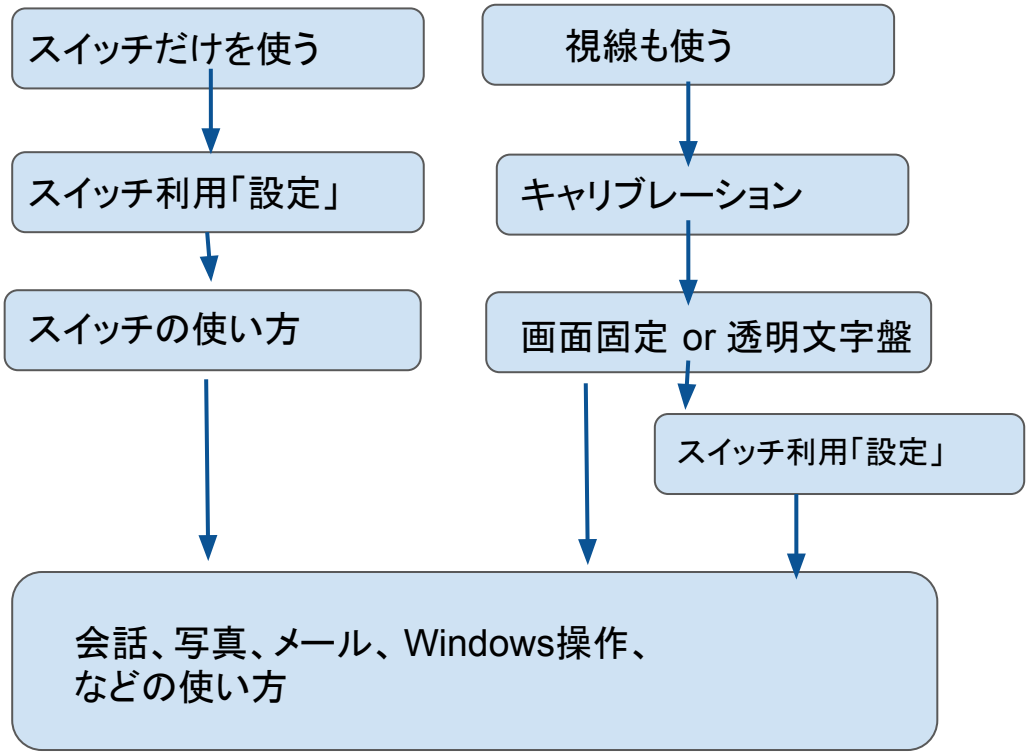
・設置説明

利用方法の流れ

①入力方法の確認

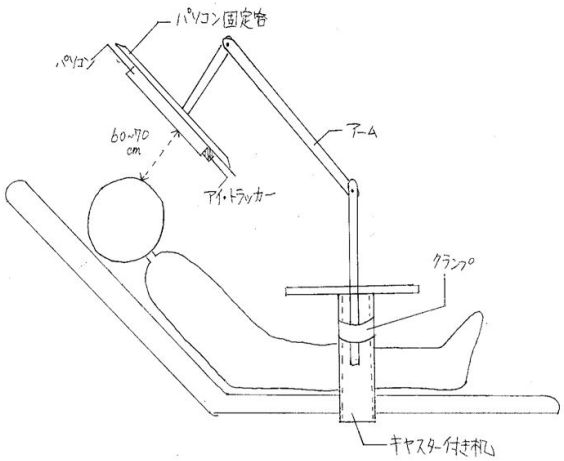
②チューニング＆設定

③メニューの利用方法



1.1 設置

パソコン固定台やアームを利用して、ご利用者様の目の前（約 50～70cm）にパソコンを設置します。
横向きで寝ている場合はパソコン画面も横向きにします。
※日当たりがいい場合、カーテン等で対策してください。



◆動画で確認◆

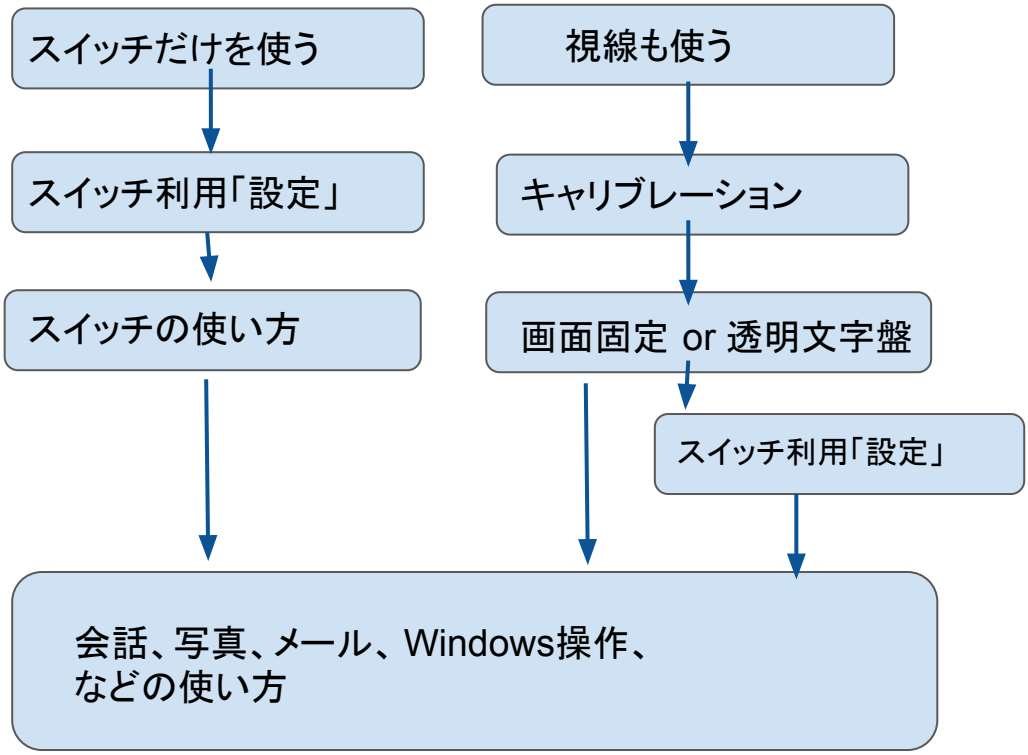
・設置方法　　・設置説明

利用方法の流れ

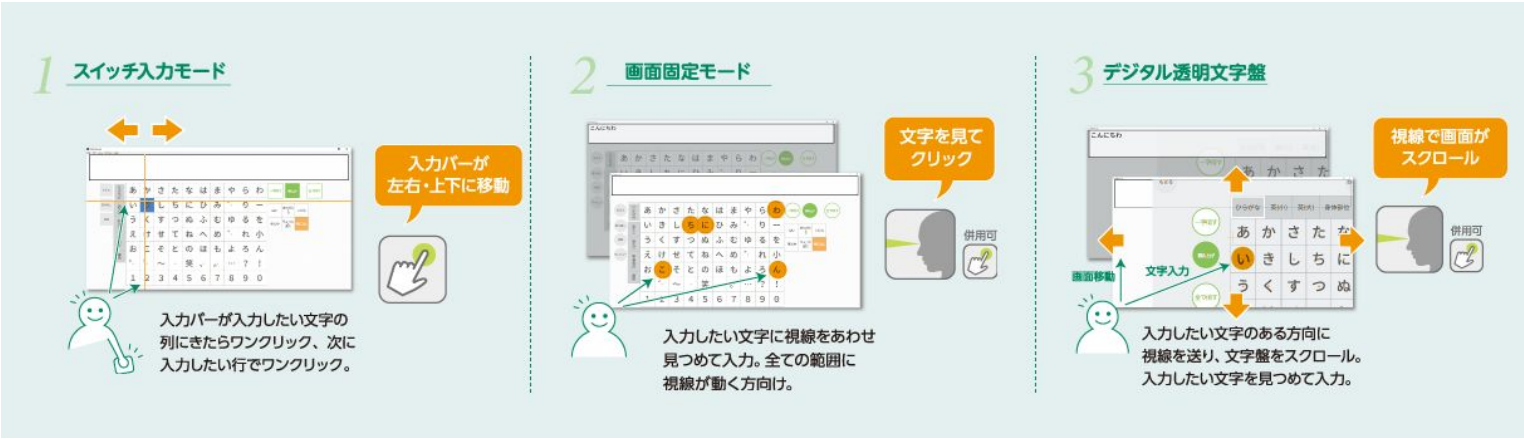
①入力方法の確認

②チューニング＆設定

③メニューの利用方法



1.2 入力方法について



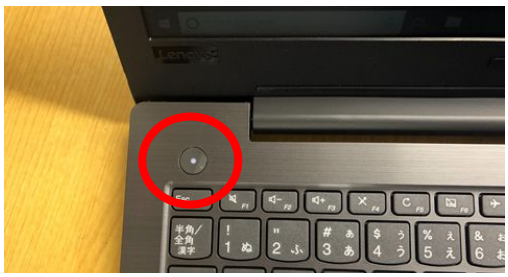
スイッチと視線（画面固定モード、デジタル透明文字盤）を併用して使うことができます。
この場合は視線で選び、スイッチで決定します。

入力方法は5種類あります。利用者様の状態に合わせて選んでみてください。
①スイッチ
②スイッチ＋視線A画面固定
③スイッチ＋視線Bデジタル透明文字盤
④視線A画面固定
⑤視線Bデジタル透明文字盤
です。あとから変更可能です。

◆動画で確認◆
視線入力とスイッチ入力の
利用イメージを動画でご覧下
さい

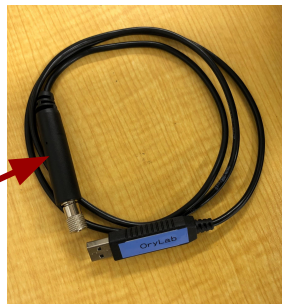
1.3 スイッチのみで入力する場合

(1) PCの起動



（注意）電源スイッチの位置は PC の型番により異なる場合があります。

(2)付属品のスイッチコネクターを差し込む
（USB口はPCのUSB口に、
もう片方はスイッチのジャックを差し込む）

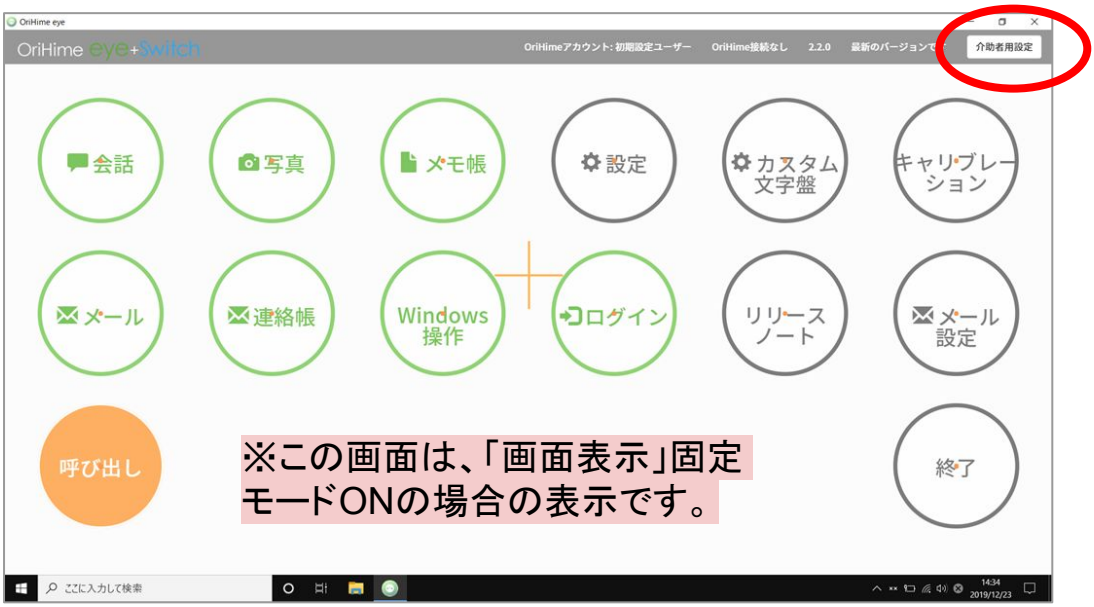


1.3 スイッチのみで入力する場合

(3) 入力設定

PCの電源を入れると自動で『 OriHime eye』が起動します。
2分半～8分程度待つことがあり、特に Windowsの更新がはじまると8分以上時間を要することもあります。

「介助者用設定」メニューを選択します。

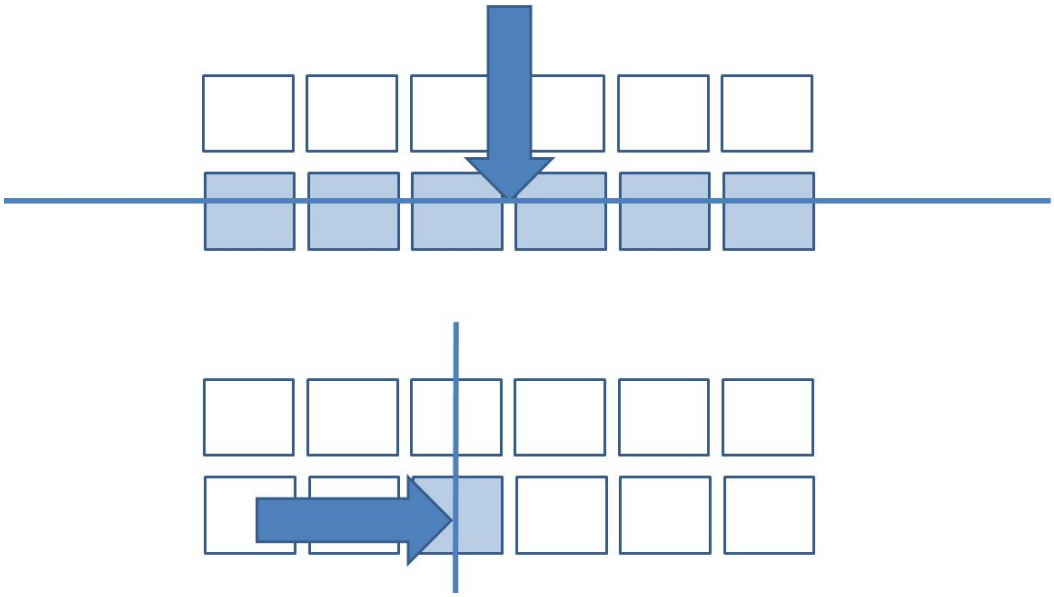


バーのスピードをここで→
変えることができます。

1.3 スイッチのみで入力する場合

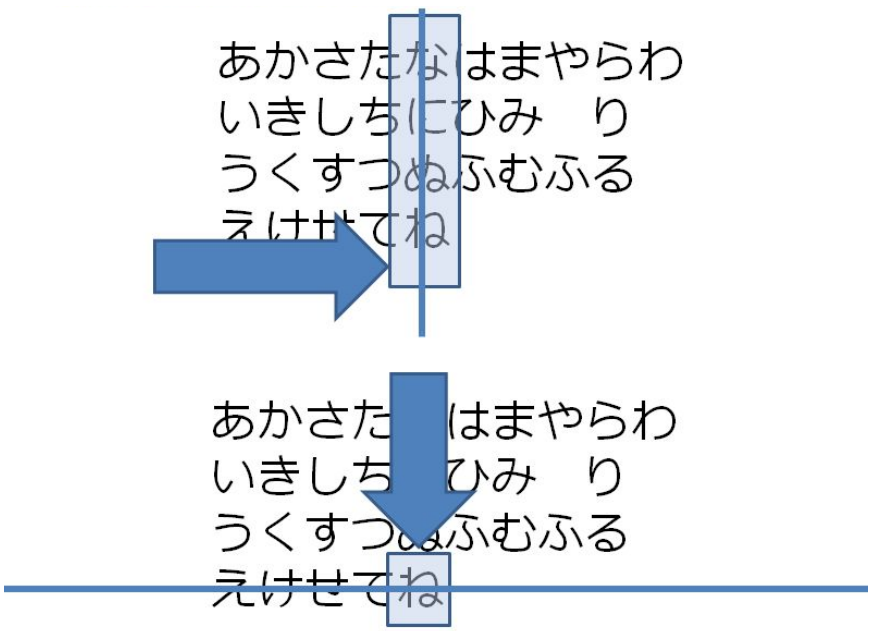
(3) スイッチ入力の使い方
【メニュー選択画面】

押した位置の色がつきます

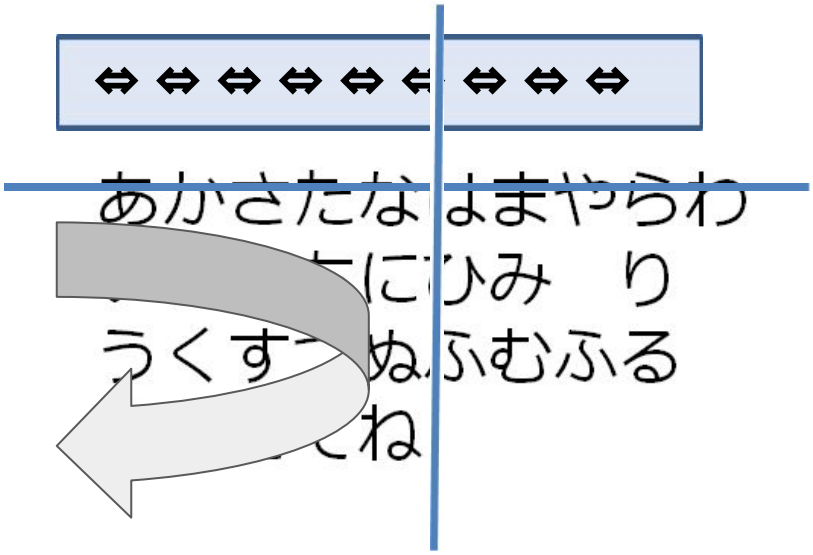


【文字盤操作画面】

◆押した位置の色がつきます



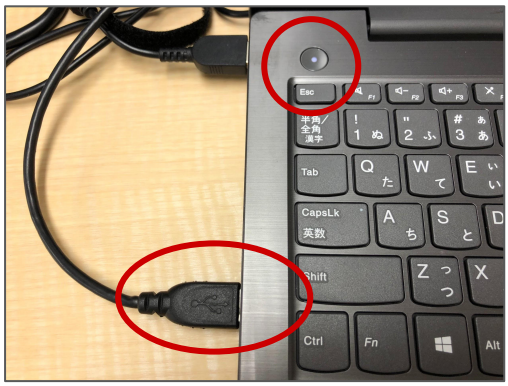
◆行き過ぎて戻りたいときは、
⇔の行を選択するとスキャンの方法が逆方向になります



1.4 視線で入力する場合

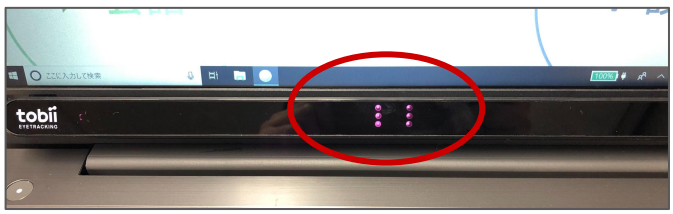
(1) 視線入力装置の接続とPC起動

①視線入力装置(tobii)をパソコンに接続する（USB接続）



②パソコンの電源を押す

③視線入力装置の赤いランプが点灯しているのを確認する



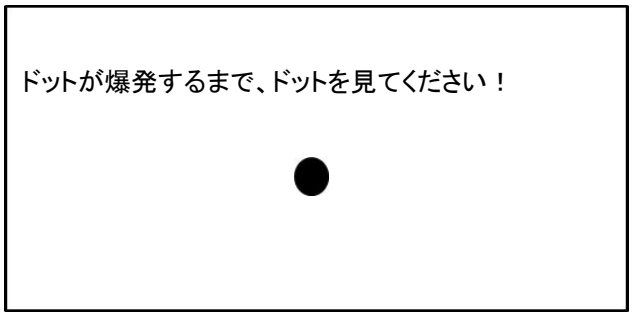
点灯しない場合は、P31の
Q6　視線入力装置（Tobii）が繋がらない
を参照ください。

(2) キャリブレーション（視線調整）

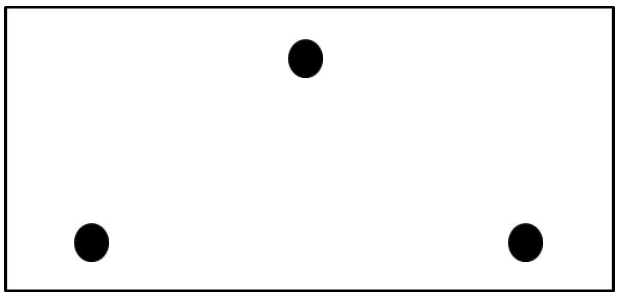
PCの電源を入れると自動で『 OriHime eye』が起動します。
2分半～8分程度待つことがあり、特に Windowsの更新がはじまると8分以上時間を要することもあります。
以下のいずれかを押してキャリブレーションを行います。
・「キャリブレーション」
・「介助者用設定」ー「クイックキャリブレーション」を選択します。

(2) キャリブレーション（視線調整）

①利用者の方に中央の〇をドットが爆発するまで見ていただきます。
＊実際の画面の色は黒字に白〇が表示されます



②次に3つの〇が出てきます。
3つが爆発するまで見ていただきます。順番は関係ありません。



リラックスして目だけを動かすようにしてください。
顔が動かないように気をつけてください。
目を見開きすぎると疲れます。
ぼんやり、自然な目で見るようにしてください。

(3) 画面モードの選択

「介助者用設定」もしくは「設定」の「画面表示」で設定します。
固定モードON　：画面固定モード
固定モードOFF　：デジタル透明文字盤モード（視点で文字盤が動きます）

(4) [視線＋スイッチ]で入力する場合の設定

「介助者用設定」もしくは「設定」の「スイッチ」で設定します。
視線で選びスイッチで決定する：はい
スイッチだけで操作する　　：いいえ

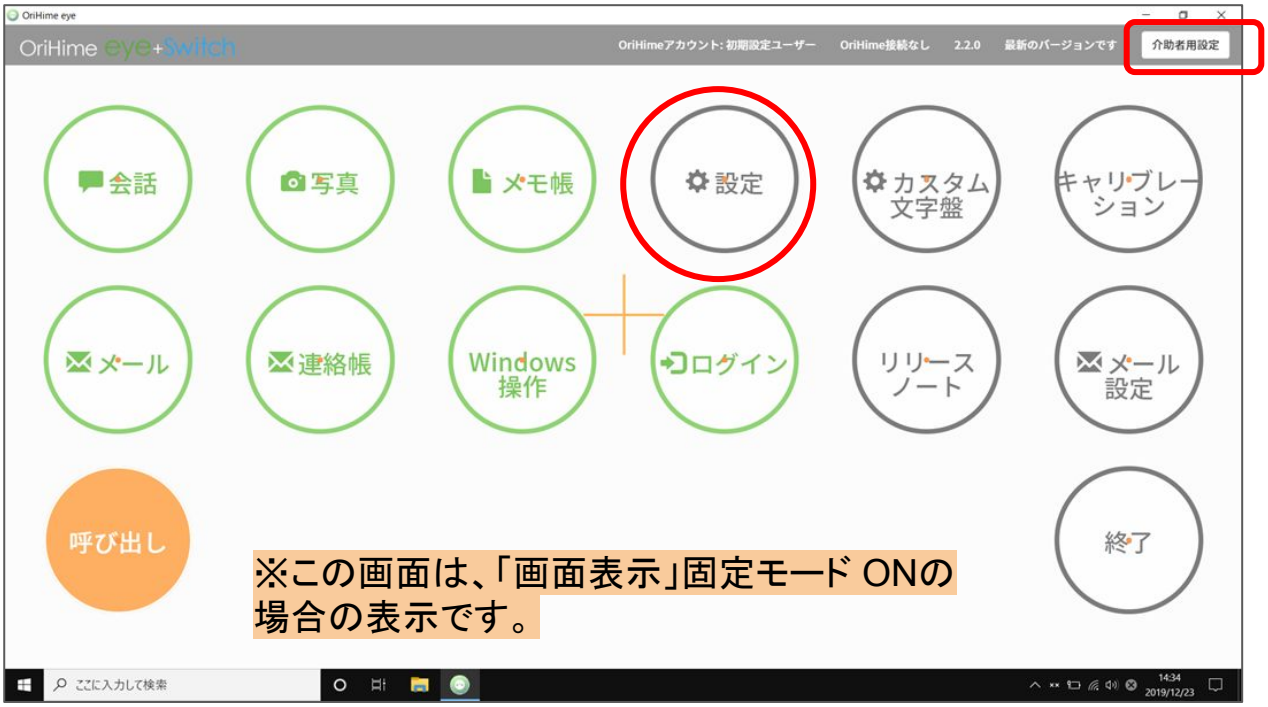
1.5 参考
全入力パターンの設定画面

「介助者用設定」メニューで入力方法ごとに以下の項目を設定します。

	スイッチのみ	スイッチ＋視線A画面固定	スイッチ＋視線Bデジタル透明文字盤	視線A画面固定モード	視線Bデジタル透明文字盤
（画面表示）固定モード		ON	OFF	ON	OFF
（スイッチ）視線で選びスイッチで決定する		はい	はい	いいえ	いいえ
（スイッチ）スイッチだけで操作する	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

1.5 参考
「介助者設定」と「設定」で設定できる項目

「介助者用設定」は介助者の方が「設定」は利用者様が設定します。



「介助者用設定」と「設定」で設定できる項目

介助者用設定		設定
画面表示	固定モード	○
	カラーテーマ	○
	画面移動速度	○
文字板	文字板サイズ	○
	ひらがなの並び方	○
	入力補助	○
	休憩/昼寝　再開ボタン・発話中止ボタン位置	―
	―	入力文字サイズ
入力時間	クリックまでの時間	○
	Windowsクリック時間	○
Windows操作モード	固定モード	○
	Windows操作モード画面サイズ	―
	Windows操作時の画面移動速度	―
スイッチ	視線で選びスイッチで決定する	○
	スイッチだけで操作する	○
	スキャン速度	―
	スキャン音	―
	基準点を使う	―
	スイッチで決定後に停止する	―
	長押し反転時間	―
	なんでもスイッチUSBアプリケーションを自動で起動	―
音声	音声合成エンジン	―
	声の種類	○
	ボタンクリック音	○
	呼び出し音量	―
	メール着信音	○
	コエステーション詳細設定	―
注視点	注視点表示	○
システム	自動で起動	○

”○”→「設定」で利用者が設定可能

“－”→「介助者用設定」のみで設定可能な項目です。

1.5 参考

視線入力のコツ

1. 目を見開かない。瞬きを意識して行うようにする。
   ⇒目を見開かなくても十分視線はひろいます。
   目が乾かないように瞬きを意識しましょう。
   『見つめ続ける』は、目を見開くことではありません。

2. 目をどこまで細めて視線をひろえるか試してみる
   ⇒細目で見て操作する癖をつけましょう。

3. ぼんやりと画面を見る

4. 瞬きを意識して行う

5. 首は動かさず、目だけ動かす事を心掛ける

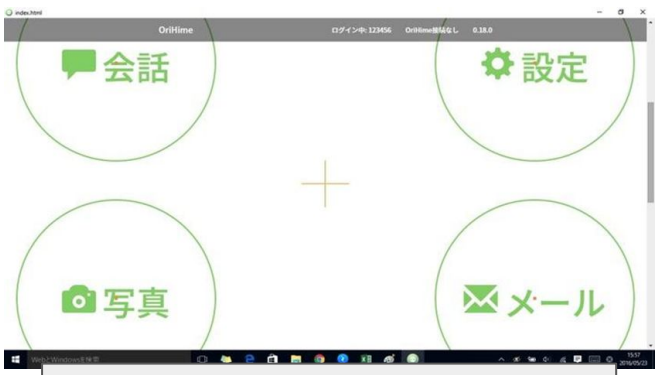
6. 目標物だけを見るようにする
   ⇒移動している画面の情報の全てを目で追うと疲れてしまいます。

7. 直射日光が入る部屋はカーテンを閉める

8. 充血に注意する

2.1 起動画面の概要

「会話」「デジタル透明文字盤」で文字の入力や合成音声による発話ができます。
「メール」メールの送受信ができます。
「写真」保存されている写真を表示できます。
「Windows操作」視線やスイッチを使ってWindowsの設定やアプリの操作ができます。
「会話OriHime」分身ロボットOriHime がPCに接続されている場合に表示されます。
「リモートOriHime」離れている場所にある分身ロボット OriHime がインターネットで接続されている場合に表示されます。

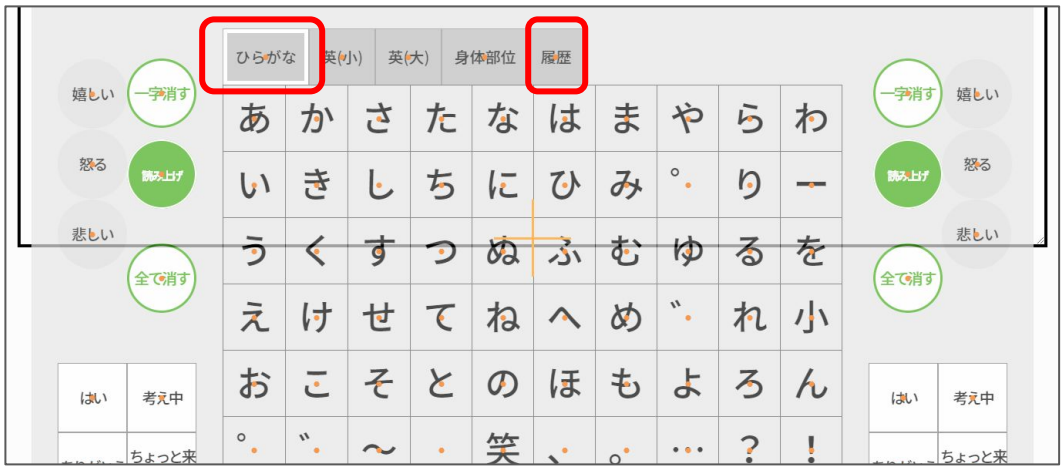


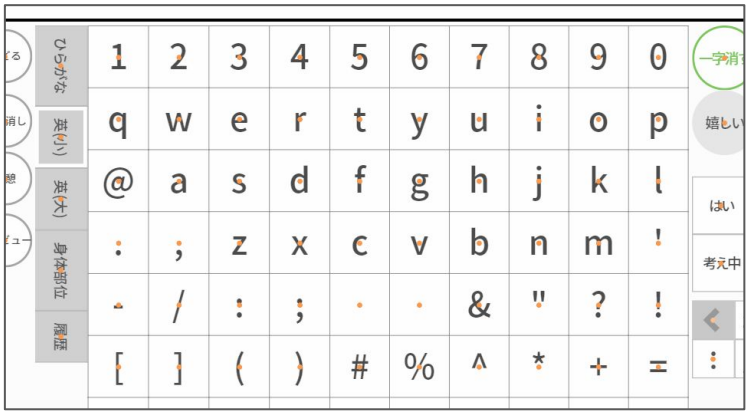
固定モードOFF時メニュー画面

画面表示を固定モードONに変更すると以下のように配列された画面になります。

2.2 会話

「会話」では表示される文字盤を見て、選択することで文字を入力・発話することができます。
利用方法は通常の透明文字盤と同様で、人間の代わりに機械が文字盤を動かしてくれていると考えていただければわかりやすいかと思います。
「ひらがな」の文字盤は「あ行」が右から始まるか、左から始まるか好きな方を選ぶことができます。
「履歴」では最近使った言葉を選択することができます。

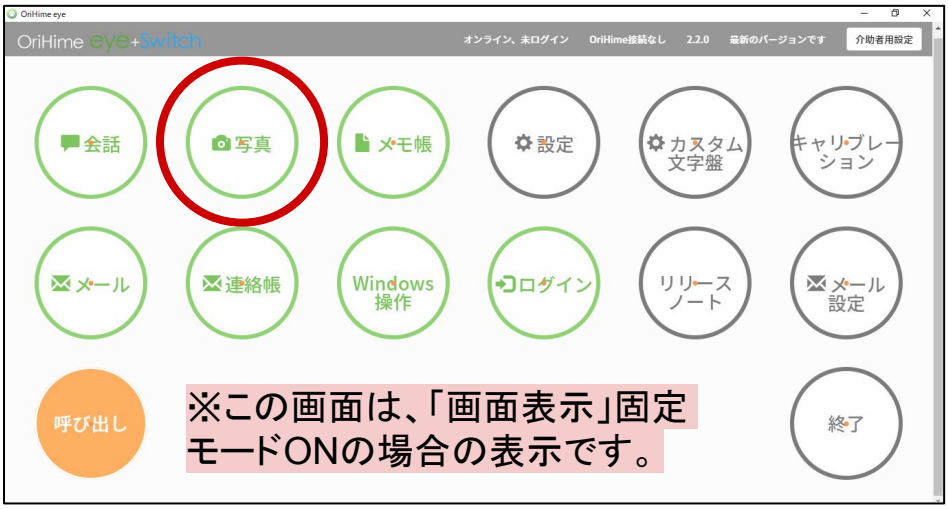




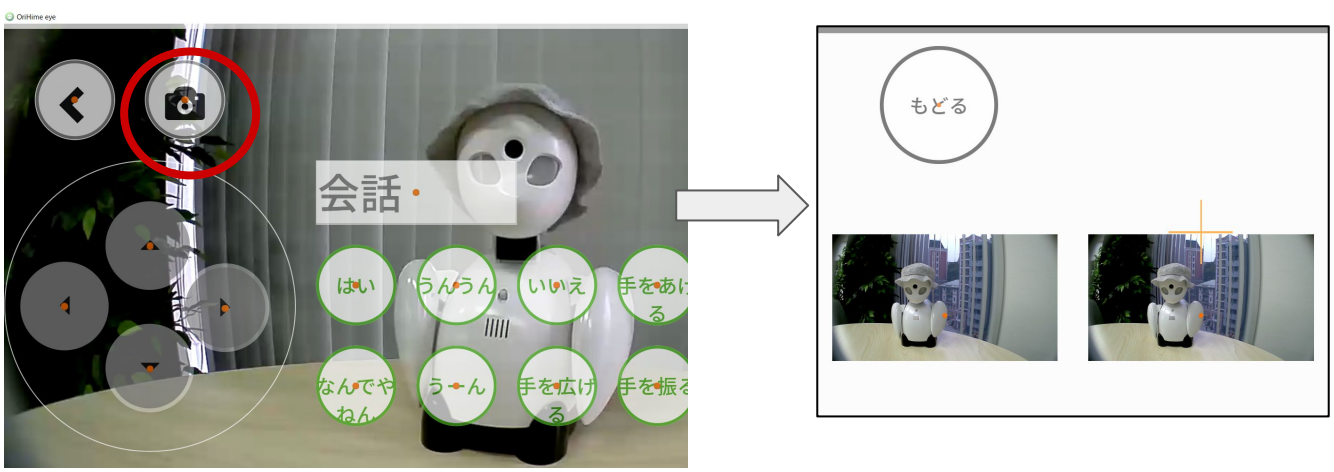
「英数字」タブはアルファベットと数字、
「身体の部位」は背中や腕といった身体の部位の名前が選択できます。

利用者様の使い勝手に合わせた**「カスタム文字盤」**を作ることができます。
（3.応用　カスタム文字盤参照）

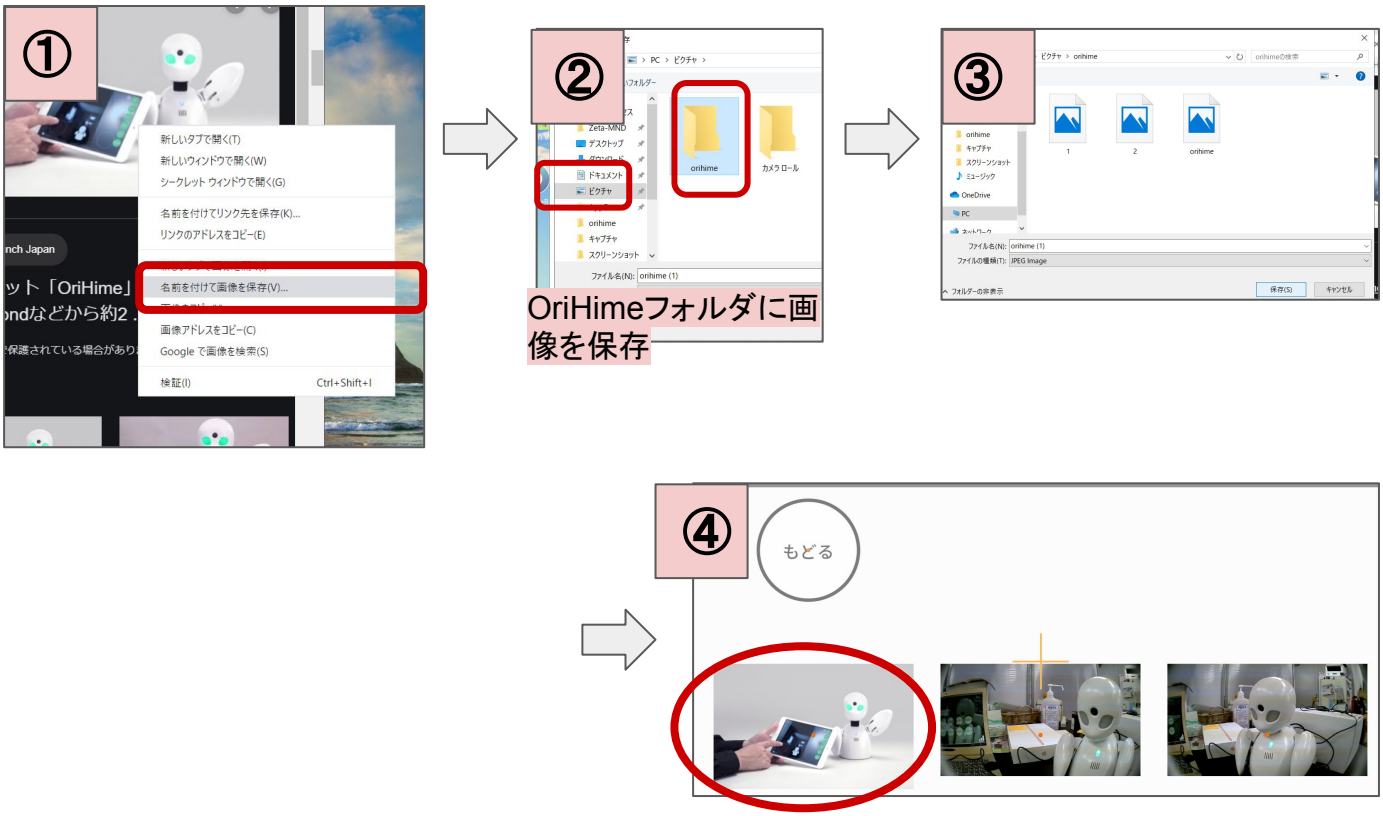
2.3 写真



(1)　OriHimeロボットで撮った写真を保存できます



(2) ネットの画像も保存できます



2.4　メール機能 設定方法

【Gmailの場合】

①URL(https://accounts.google.com/SignUp?hl=ja)にアクセスし、
アカウントを作成する

②URL(https://www.google.com/settings/security/lesssecureapps)
に
アクセスして「安全性の低いアプリのアクセス」の項目について
「オンにする」を選択する

③gmailの設定からPOPの受信とIMAPの受信を有効にする

←全てのメールでPOPを有効にするにクリック

←IMAPを有効にする

【Yahooメールの場合】

①‘ URL(https://account.edit.yahoo.co.jp/registration)にアクセスしアカウントを作成する

【gmail、yahooメール共通】

④作成したアカウントを OriHime eyeに設定する
介助者用設定（介助者様がPCのキーボードを使って設定する）からメール設定いただくことを推奨しております。

❶介助者用設定をクリック

❷メール設定をクリック

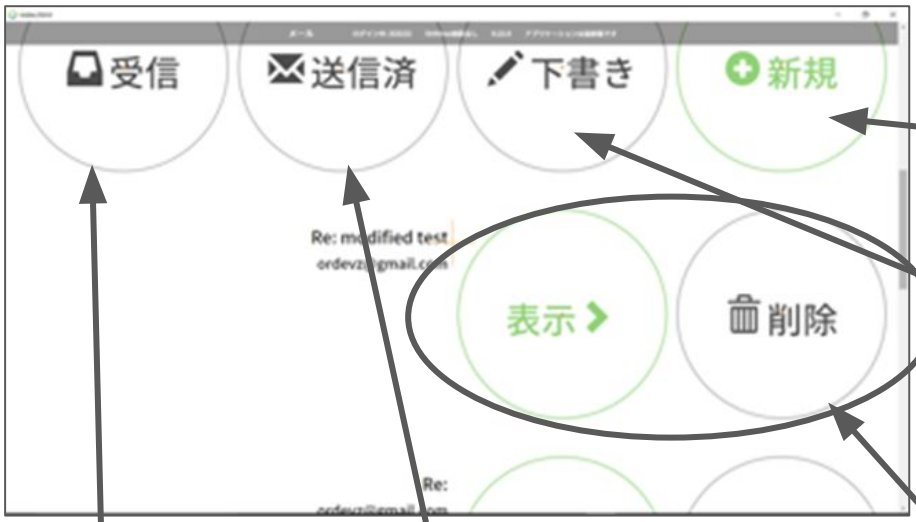
❸以下設定をする

（Gmailの場合）
＊名前: 任意
＊Eメールアドレス: Googleアカウント作成時に設定したメールアドレス
＊受信サーバ:pop.gmail.com
＊送信サーバ:smtp.gmail.com
＊受信サーバポート番号:【995】
＊送信サーバポート番号:【465】
＊ユーザ名:Googleアカウント作成時に設定したユーザ名
＊パスワード:Googleアカウント作成時に設定したパスワード
＊SSL / TLS:ON

（Yahooメールの場合）
＊名前: 任意
＊Eメールアドス: Yahooアカウント作成時に設定したメールアドレス
＊受信サーバ: pop.mail.yahoo.co.jp
＊送信サーバ:smtp.mail.yahoo.co.jp
＊受信サーバポート番号:【995】
＊送信サーバポート番号:【465】
＊ユーザ名:Yahooアカウント作成時に設定したユーザ名
＊パスワード:Yahooアカウント作成時に設定したパスワード
＊SSL / TLS:ON

メール画面について

「メール」を押した画面です。



メール作成ページに移動し、新しいメールを作成することができます。

下書きフォルダに移動し、下書きのメールを確認することができます。

ここに過去に受け取った受信箱もしくは送信済のメール一覧が表示されていてそれぞれのメールに対して表示をクリックすると本文が見られます。削除をクリックするとメールを削除します。

受信箱に移動し、受け取っているメールを確認することができます。

送信済みフォルダに移動し、過去に送信したメールを確認することができます。

メールの本文です。
返信を押すと返信を作成するページに移動し、削除を押すとメールを削除します。

メールの作成画面です。
タイトルの編集を押すと、タイトル入力画面に、本文の入力を押すと本文入力画面に移行します。
送信を押すとメールを送信します。

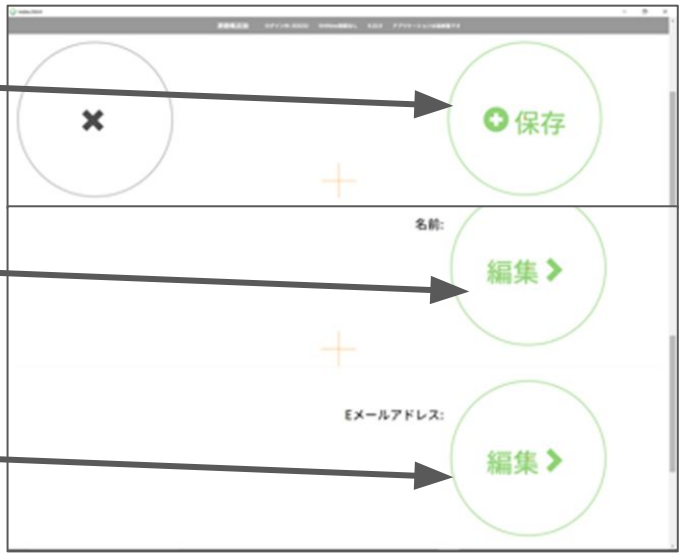
Toには、送信したい相手を指定します。
連絡帳の画面に移動し、その中でメールを送りたい相手を指定します。
送りたい相手が連絡帳に入っていない場合、連絡帳+を押して新しい連絡先を追加します。

CCとBCCにはToと同時に送信したい相手を指定します。c.c.とb.c.c.の役割や違いは一般的なメールシステムと同様です。

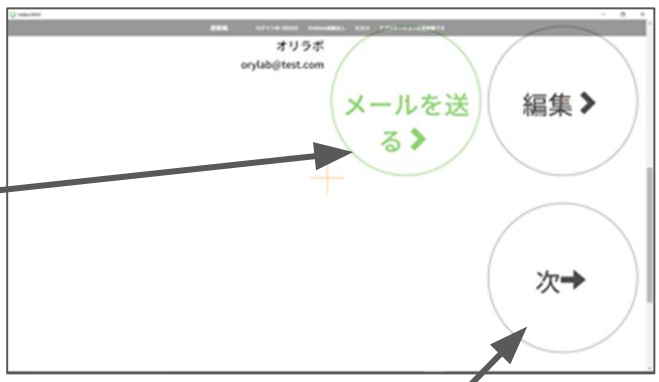
保存を押すと、入力した名前とメールアドレスを登録します。

この編集を押して、アドレス帳に登録したい相手の名前を入力します。

この編集を押してアドレス帳に登録したい相手のアドレスを入力します。



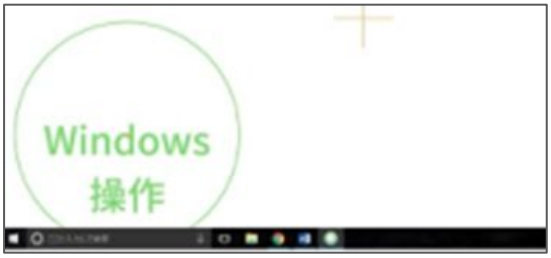
連絡帳に登録したあとのページです。
この中からメールを送りたい相手を選び、メールを送るをクリックします。メール作成ページに移動し、新しいメールを作成することができます。



連絡帳に登録したメールアドレスが多数ある場合、次へを押して次の連絡帳ページに移行します。

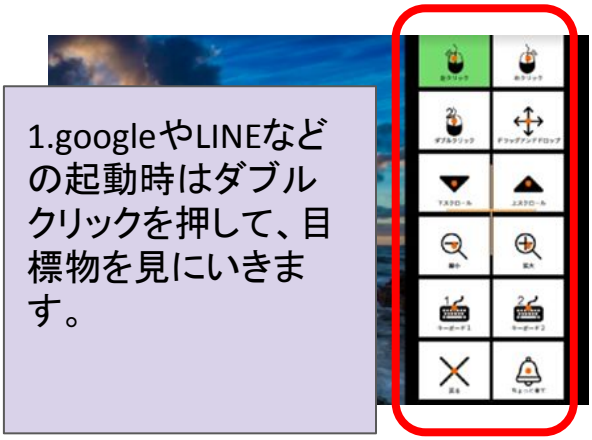
2.5 Windows操作について

メニュー画面『Windows操作』を押すことで開始します。



【Windows全画面固定モードをOFFにした場合】
（視線入力 & 視線＋スイッチ）

デジタル透明文字盤と同じ仕様でクリックしたい目標物を見に行くと、目標物が寄ってくる仕様になっています。



1.googleやLINEなどの起動時はダブルクリックを押して、目標物を見にいきます。

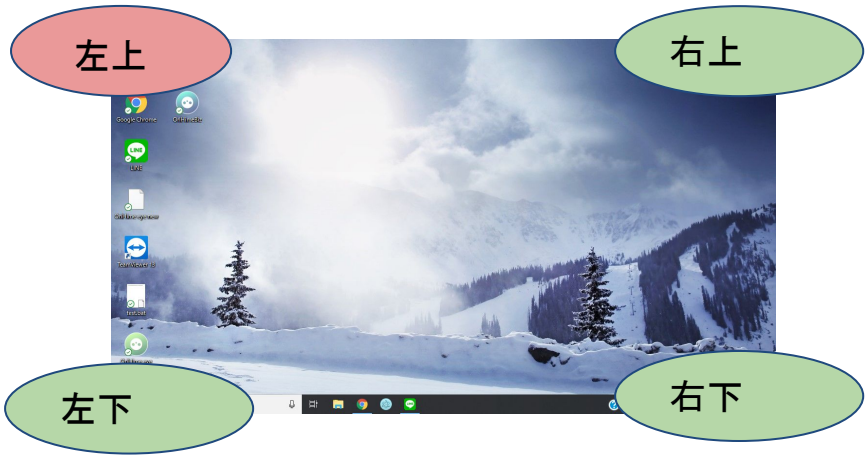
Windows操作機能を終了するにはメニュー画面の『戻る』を押します。

【全画面操作方法】

①、②どちらの方法でも全画面にすることができます。

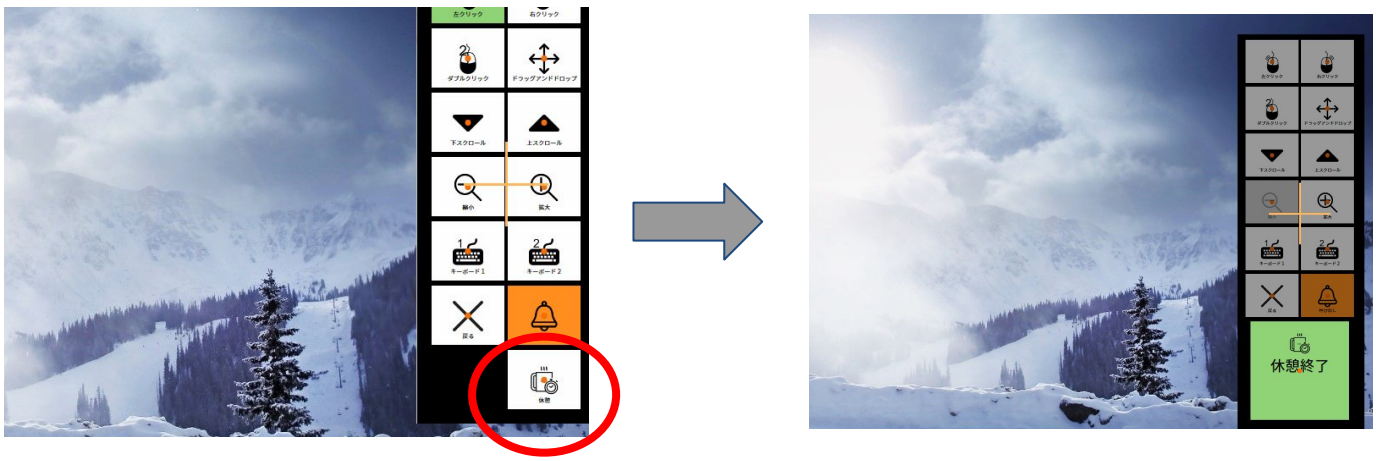
①動いているデスクトップの **左上**を数秒見ると、『全画面』になります。
この際、メニューは表示されなくなります。

全画面でweb閲覧中に下にスライドさせたい場合は 画面下・中央を数秒見ます。
全画面でweb閲覧中に上にスライドさせたい場合は 画面上・中央を数秒見ます。

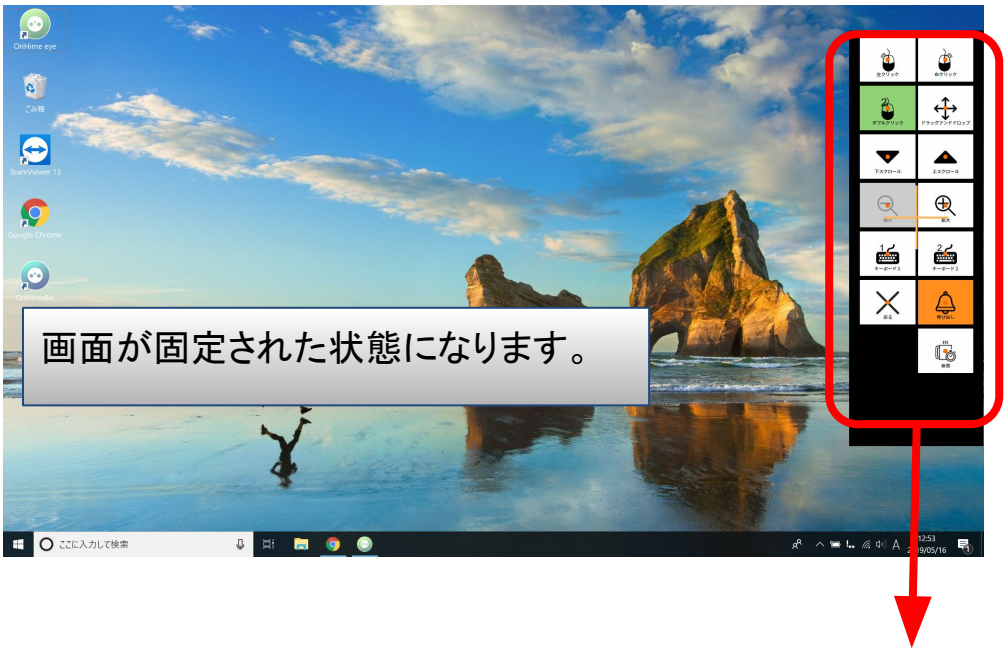


またデスクトップが動く画面に戻りたい場合は 右上・右下・左下の3カ所のいずれか一カ所を数秒見ます。

②メニューの休憩ボタンをクリックすると、『全画面　』になります。

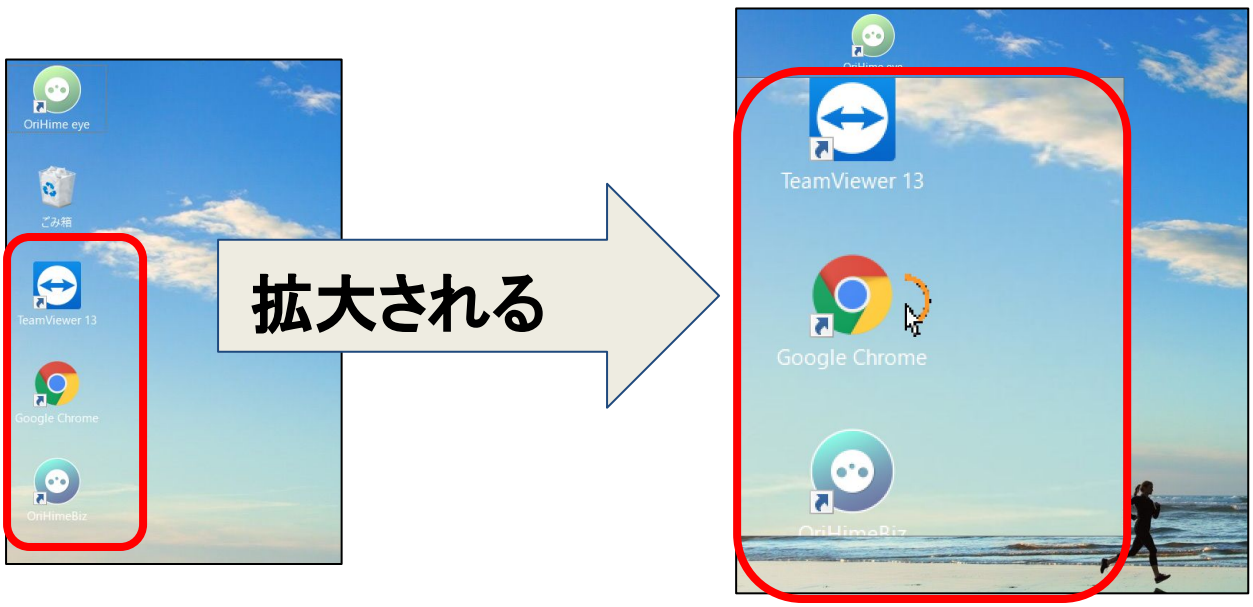


【Windows全画面固定モードをONにした場合】（視線入力 ＆ 視線＋スイッチ）

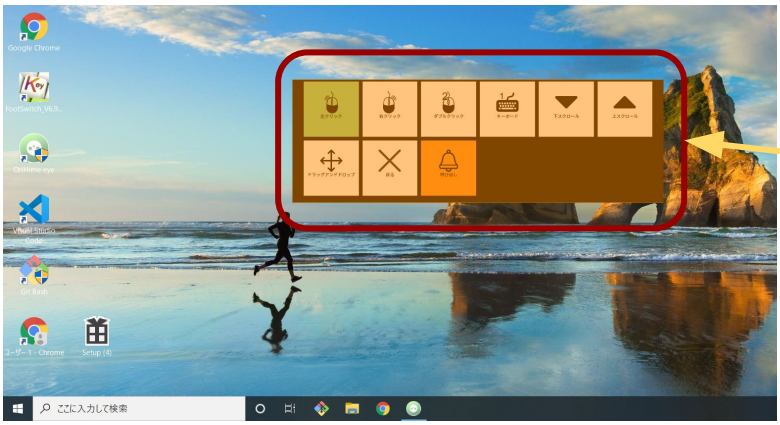


1.googleやLINEなどの起動時はダブルクリックを押して、目標物を見にいきます。

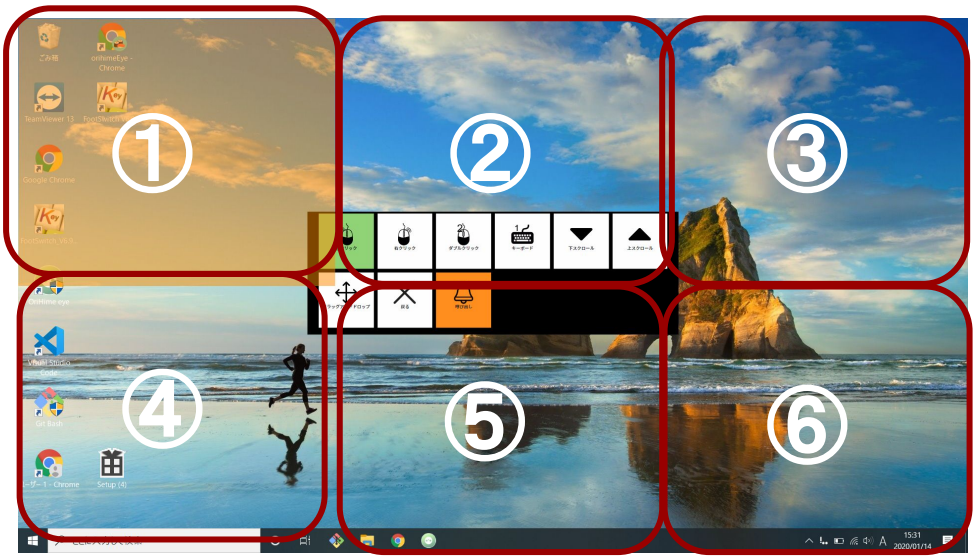
2.目標物を見ると、クリックしたい部分が拡大され、クリックしやすくなります。



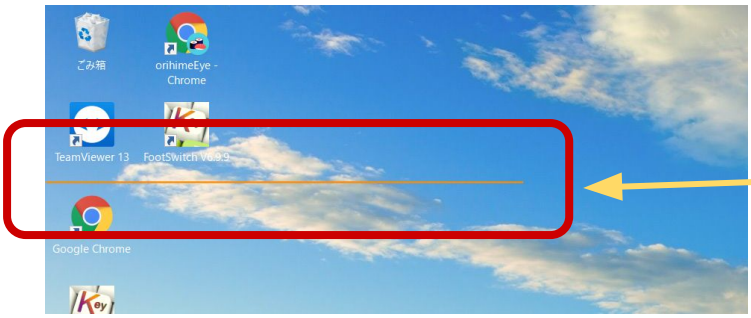
【スイッチだけで操作する場合のWindows操作】



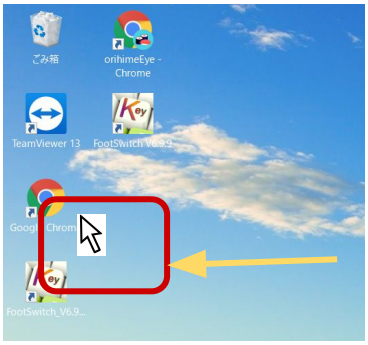
1.メニューから選択します。
（googleやLINEなどの起動時はダブルクリックを押します。）



2.クリックしたい箇所を①～⑥の6か所から選択します。



3.①～⑥の中から目標物がある箇所を選択後、オレンジのバーで上下の選択します。

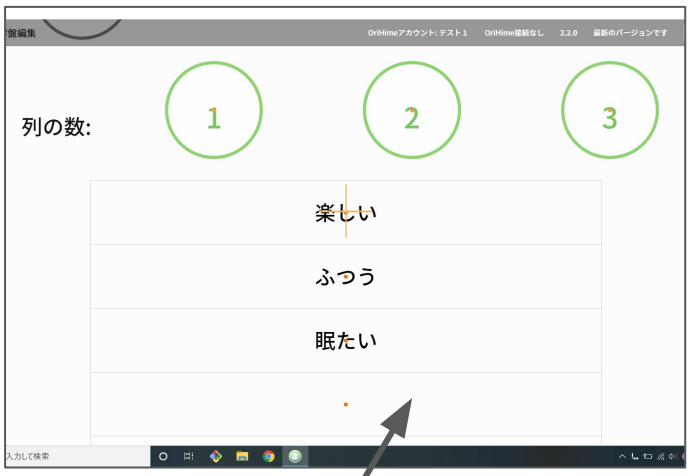


4.カーソルで左右を選択します。

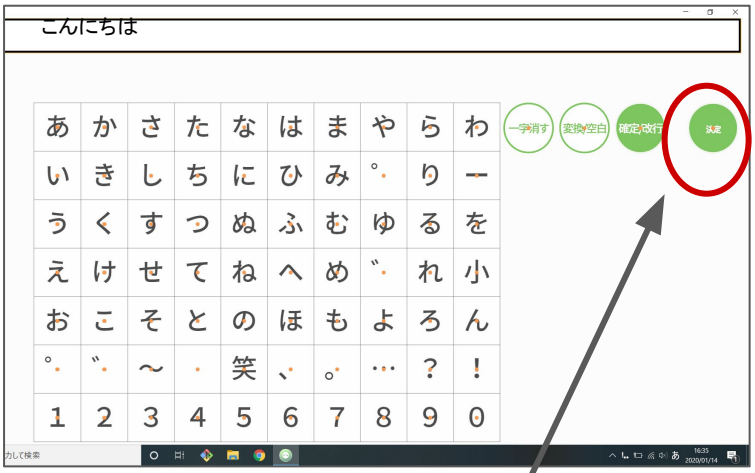
カスタム文字盤

登録しておきたい文字や文章をカスタム文字盤で登録できます。
登録したものは**「会話」のカスタムのタブでご利用できます。**

1.カスタム文字盤をクリックします。
※この画面は、「画面表示」固定モードONの場合の表示です。



2.空欄をクリック



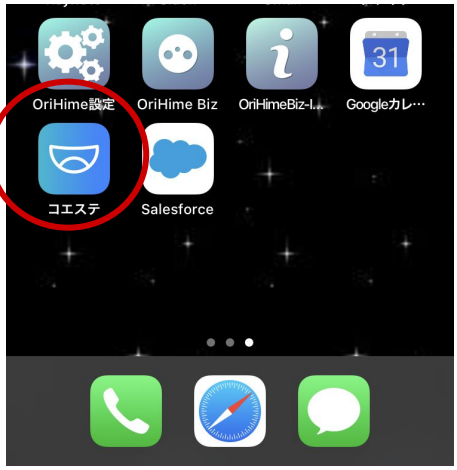
3.登録しておきたい単語・文章を入力し、「決定」ボタンを押す

4.カスタムのタブをクリックすると、登録した単語・文章がでてきます

コエステーション機能について

自身の声をコエステーションで録音しておけば、無料で OriHime eye+switchに搭載することができます。
注:コエステーション機能を利用するには、インターネットの環境が必要です。

①App storeより「コエステーション」と検索いただき、アプリをダウンロード　**※iOSのみ対応**

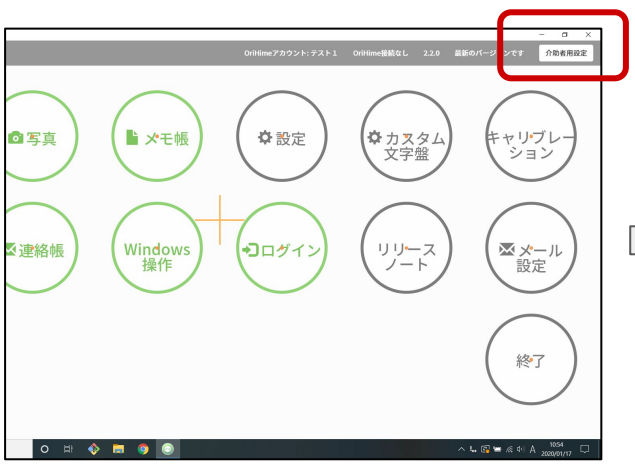


※iPhone、iPadの画面です。
OriHime eye+switchの
画面ではありません。

②コエステーションアプリから自分の声を録音する手順については、コエステーションアプリの説明をご参照ください。
→QRコードより、手順の確認ができます。

OriHime eyeの設定にうつります。

③介助者設定から、設定に入り音声の部分を変更します。



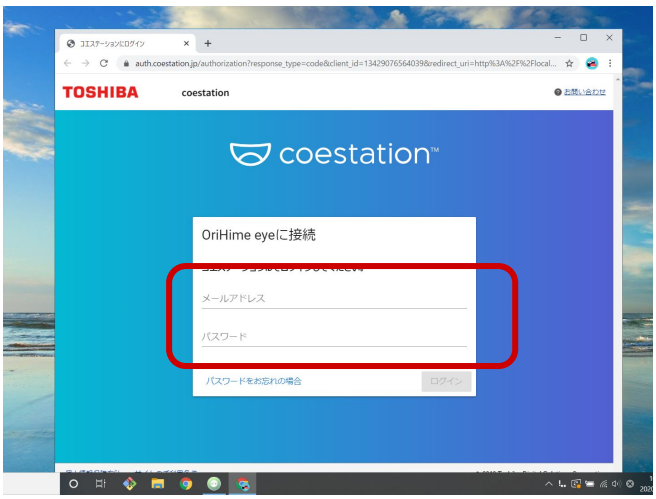
④「音声」の設定を変更します。

coestation にチェックをいれる

声の種類を
・女性1~3
・男性1~3
・ご自身の声
から選択することができます。

ご自身の声を設定する場合は、
「coestationと連携する」を
クリックしてください。
<u>※OriHime eye+switchがインターネット環境になっているか、確認してください。</u>

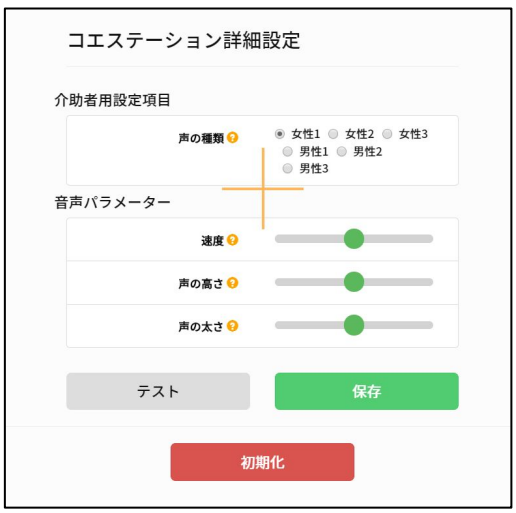
⑤自身の声を設定する場合は「 coestationと連携する」をクリック



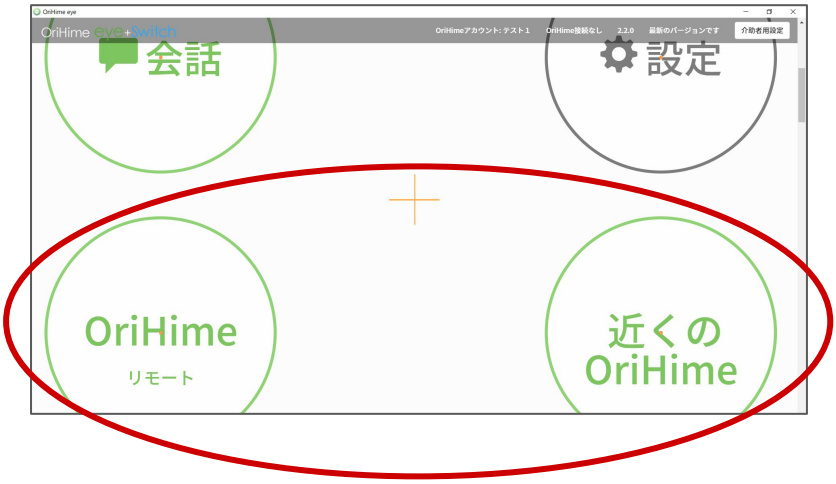
クリックするとcoestation のブラウザが
立ち上がるので、アプリで登録した
・メールアドレス
・パスワード
を入力してログインをしてください

【補足】

コエステーション詳細設定ページを
クリックすると、音声の速度や高さ、
太さをカスタムすることができます。



OriHimeをつなぐ

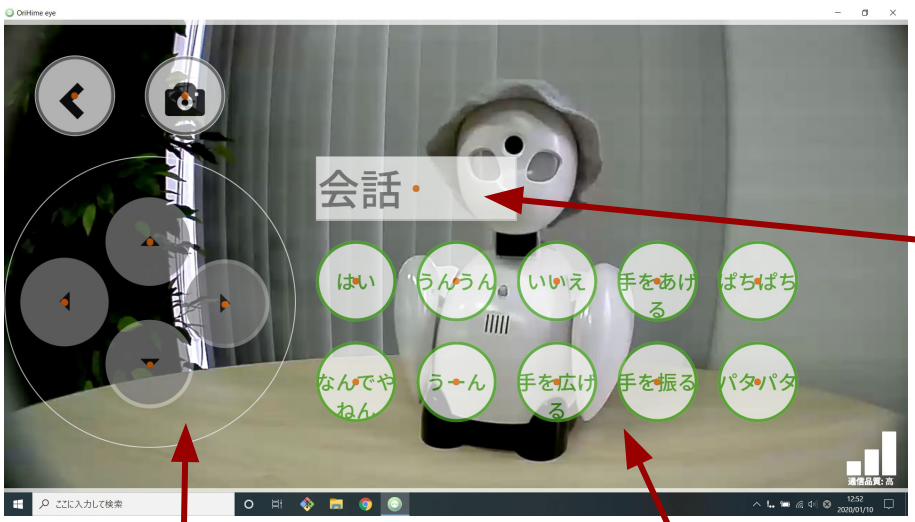


「OriHimeリモート」
→遠隔でOriHimeを操作する際にご利用ください

「近くのOriHime」
→OriHimeがOriHime eyeの近くにある場合は、こちらをご利用ください
（※ハウリングが起こらなくなります）

OriHimeが正常に設定されていると表示されます。

「OriHimeリモート」もしくは「近くの OriHime」を押した画面です。



会話を押すと、会話ページと同じように入力・発話ができます。

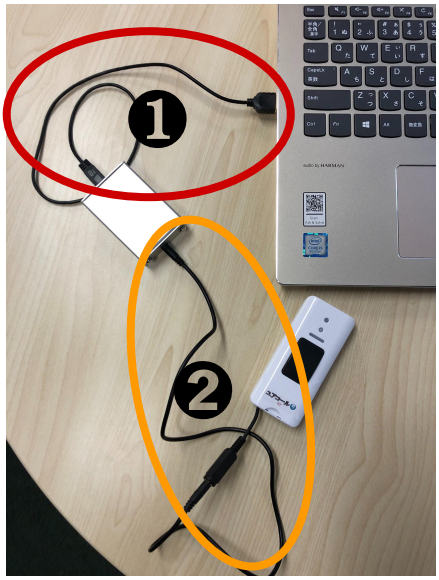
OriHimeは上下左右の矢印を押すとOriHimeも矢印と同じ方向を向き、カメラが移動し、画面に映る景色が変化します。

はい、うんうんなどのアイコンを押すと、OriHimeが所定のジェスチャーを行います。

30秒間操作・視線移動がないと自動的に一旦全ての入力を中断する「休憩」モードに入ります。視線を動かしてもOriHimeを動かしたくない時や、疲れた時はこのモードにすることで目を休めることができます。
「一休み」モードは再開を見つめ続けることで解除できます。

呼び鈴を繋ぐ

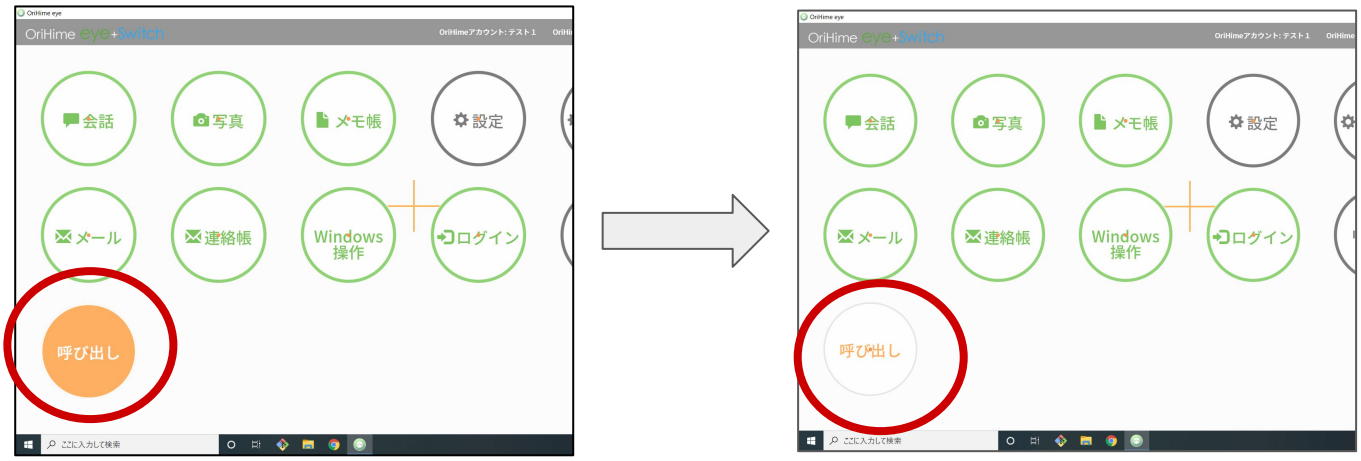
①呼び鈴分岐装置の両端にコネクターを挿入し、❶を PCのUSB口に、❷を呼び鈴につなぐ



呼び出したい場所に設置

※設定方法は製品に同梱されている「ユアコール取扱い説明書」を参照ください。

②呼び出しボタンを押すと、呼び鈴として機能します



Q1　視線での操作がしにくい。

A
視線入力は設置が最も重要と言われております。 設置さえコツをつかめればあとは直感的に簡単にご利用頂けます。

【設置時に確認する事】
①モニターの角度と顔の角度が上下左右平行である事
②モニターと顔の距離が約 50～70センチである事
③部屋に直射日光が入っていないか（日当たりが良すぎる等々）
④充血があるかご確認ください。

ご参考の動画などもご覧いただけますと、視線操作に最適な調整をしていただくことができる場合がございます。

参考動画　→

Q2　導入後に視線入力を使いすぎると眼精疲労など起きないか心配です。

A
個人差はありますが、視線入力に慣れている方の疲労の度合いは通常のパソコンでの作業時と同程度の疲労感があることを確認しております。適度に休憩をしながらご利用いただくことをお勧めいたします。OriHime eye+Switchの機能として休憩ボタンがございますのでご活用いただければと思います。

＊視線入力で目を疲れにくくするコツ

目を見開かない。瞬きを多めに意識して行うようにする。
⇒目を見開かなくても薄目の状態で十分視線入力が可能となっています。
『見つめ続ける』は、眼球の動作を行わない状態（まばたき可）をさしております。目を見開かなくても、薄目で操作することが可能です。
目をどこまで細めて視線をひろえるか試してみる
⇒少し細目で見てみてそれでも視線をひろえたらベストです。
目が乾かないように瞬きを意識しましょう。
首は動かさず、目だけ動かす事を心掛ける
⇒首が動いてしまうと、視線を拾えず、うまく動作できない場合がございます。

Q3　コエステーションが使えません。

A　コエステーションはインターネットに接続している状況下でのみ動作いたします。一度コエステーションが使えない状態で、インターネットに接続しても動作しない場合は、コエステーションを無効にしてから有効にしてみてください。

Q4　メールが使えない。

A　OriHime eye+Switchの設定から、メール設定を選択し、メールアドレス、パスワードに打ち間違いがないかご確認ください。Gmailをお使いの場合、Gmail側で迷惑メールフォルダに受診される場合があるので、Gmail側の設定をご確認ください。

メール設定画面の「テスト」を押して内容をご確認ください。

Q5　OriHime eye+Switchと連携可能な入力スイッチには何がありますか？

A　一般社団法人日本リハビリテーション工学協会公開している、「重度障害者用意思伝達装置」導入ガイドラインに掲載されている市販されているスイッチの一覧に記載のスイッチに対応しております。

Q6　視線入力装置（Tobii）が繋がらない

【初期設定　編】

A　TobiiをUSBにつなげた状態で、

❶Tobiiのアイコンをクリックして
Tobiiのメニュー画面を立ち上げます

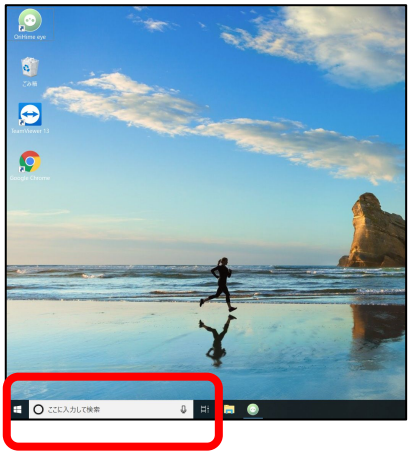
❷クリックしてディスプレイ設定をクリックし、ディスプレイのどこに，どれくらいの大きさで設置されているのかをドライバに記憶させます。
※マグネットが貼付けてある場合は、下記【終了ボタン】を押してください。

❸「クリックしてユーザープロフィール変更かディスプレイに対してキャリブレーション更新」が表示されます。
指示どおりクリックしてキャリブレーションを行い、ユーザープロフィール名を設定してください。

❹タスクバーの ●●（視線検出）か ××（視線不検出）となっているアイコンがでてきたら初期設定は完了となります。

【初期設定が完了されているのに Tobiiが使えない場合】

A　(1)デスクトップ左下の検索ボックスから「サービス」と検索

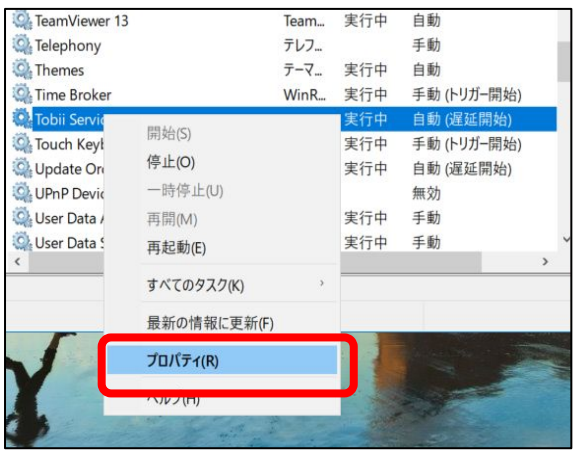


(2) 上記アイコンをクリック

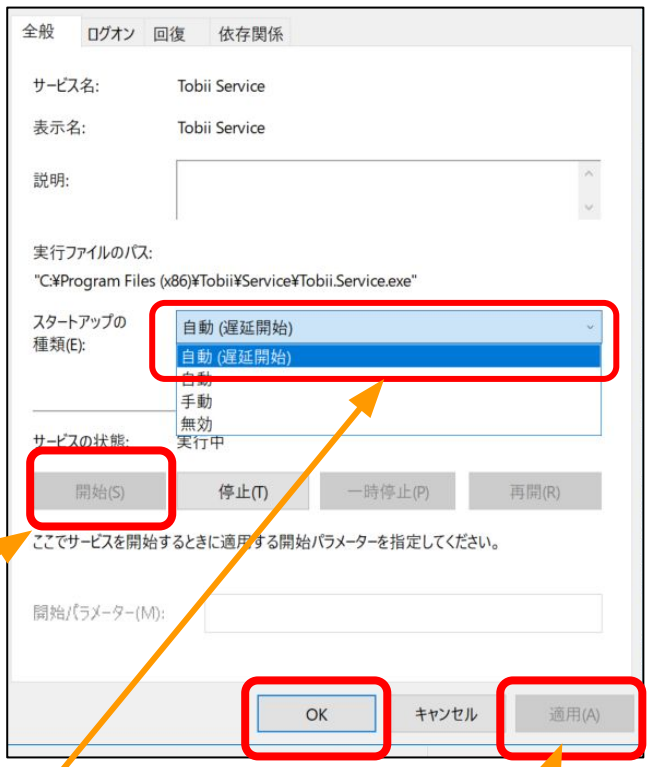
(3)「Tobii sarvice」が　**実行中 自動（遅延開始）**
になっていることを確認します。

もし、**実行中　自動（遅延開始）**になっていなかった場合は(4)に進んでください

(4)「Tobii Service」を右クリックし、
「プロパティ」をダブルクリックする



(5) Tobiiの設定を変更する



サービスの状態が停止中となっている場合は、
「開始」ボタンを押す

スタートアップの種類を
「自動（遅延開始）」にする

適用ボタンを押して、
OKボタンを押す